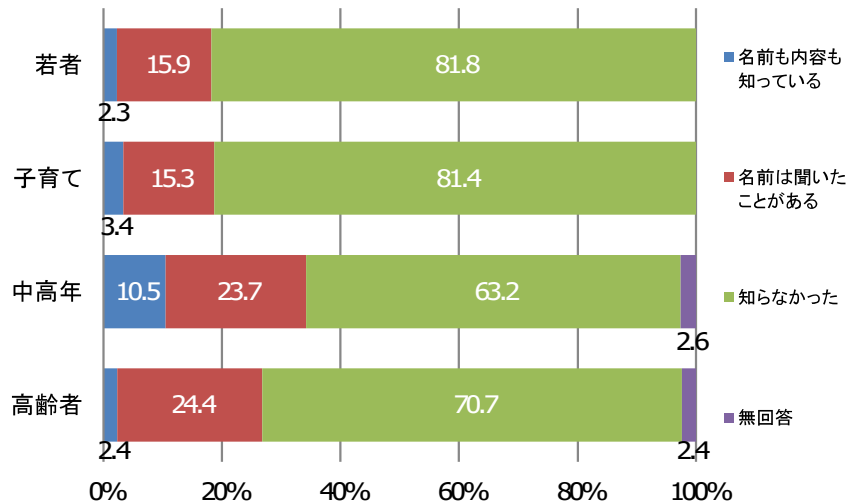
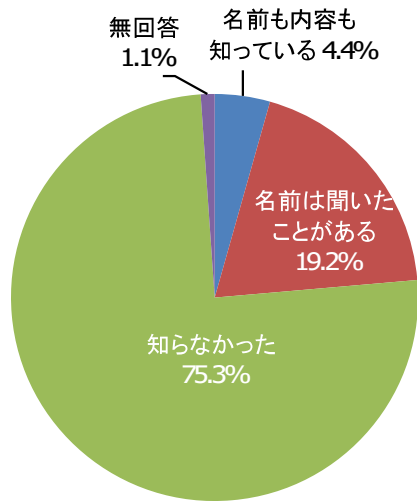


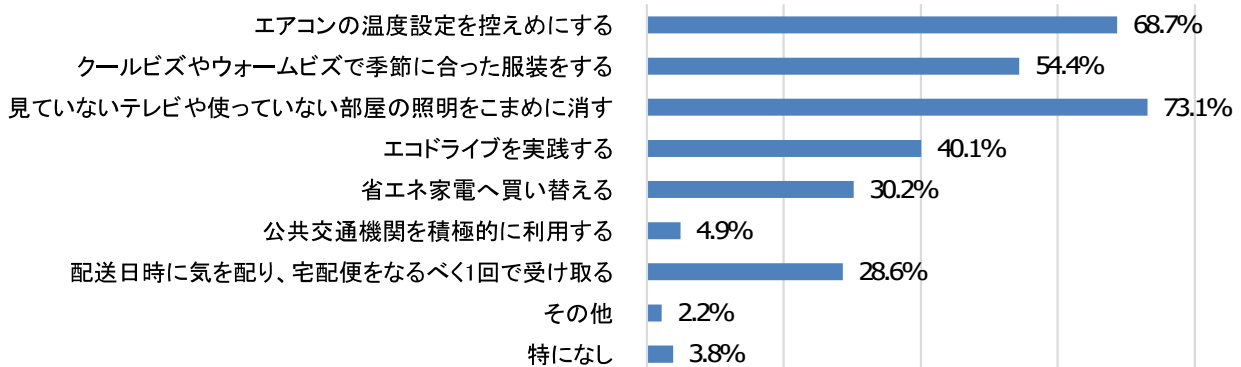
<地球温暖化対策について>

■ 問1 「クールチョイス(=賢い選択)」の認知度 (N=182)



- 「クールチョイス(=賢い選択)」の認知度は、『知っている』(「名前も内容も知っている」と「名前は聞いたことがある」の合計)が約2割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育ての約2割、中高年・高齢者の約3割が『知っている』と回答しています。

■ 問2 日ごろ実践している温暖化対策 (N=182 複数回答)

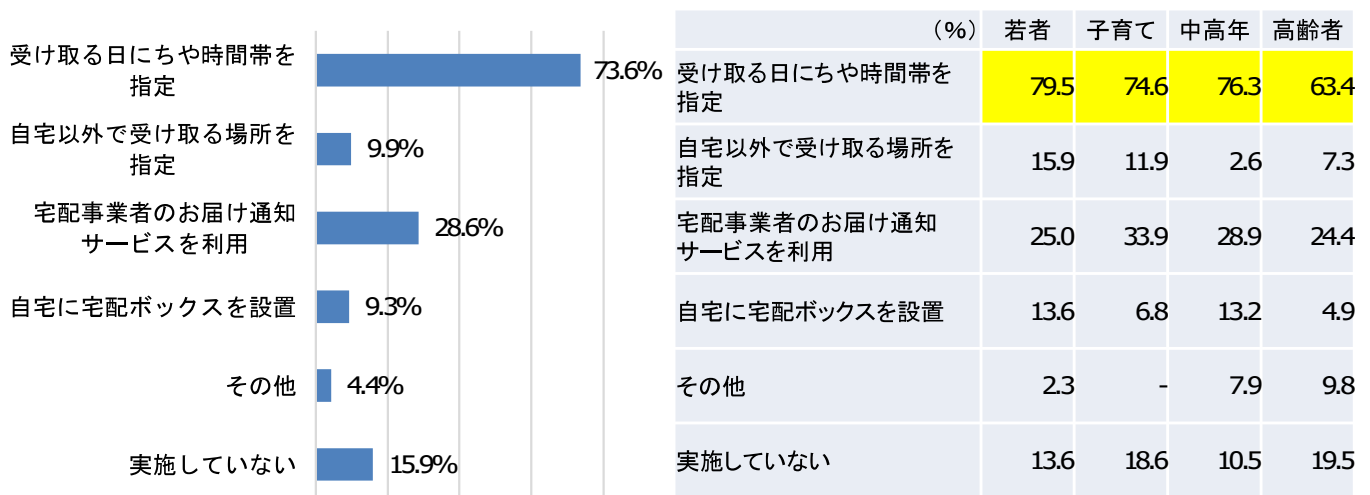


(%)	若者	子育て	中高年	高齢者
エアコンの温度設定を控えめにする	65.9	59.3	76.3	78.0
クールビズやウォームビズで季節に合った服装をする	43.2	57.6	65.8	51.2
見ていないテレビや使っていない部屋の照明をこまめに消す	77.3	66.1	68.4	82.9
エコドライブを実践する	31.8	39.0	55.3	36.6
省エネ家電へ買い替える	25.0	30.5	31.6	34.1
公共交通機関を積極的に利用する	4.5	3.4	10.5	2.4
配送日時に気を配り、宅配便をなるべく1回で受け取る	25.0	27.1	26.3	36.6
その他	-	1.7	2.6	4.9
特になし	4.5	6.8	-	2.4

- その他意見
- ・自家用車を1台減らした
 - ・照明をLEDに交換
 - ・自転車を使う

- 日ごろ実践している温暖化対策については、「見ていないテレビや使っていない部屋の照明をこまめに消す」が最も多く、次いで「エアコンの温度設定を控えめにする」も約7割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・高齢者では「見ていないテレビや使っていない部屋の照明をこまめに消す」が、中高年では「エアコンの温度設定を控えめにする」が最も多い回答となっています。

問3 宅配便の再配達防止のために実施していること (N=182 複数回答)

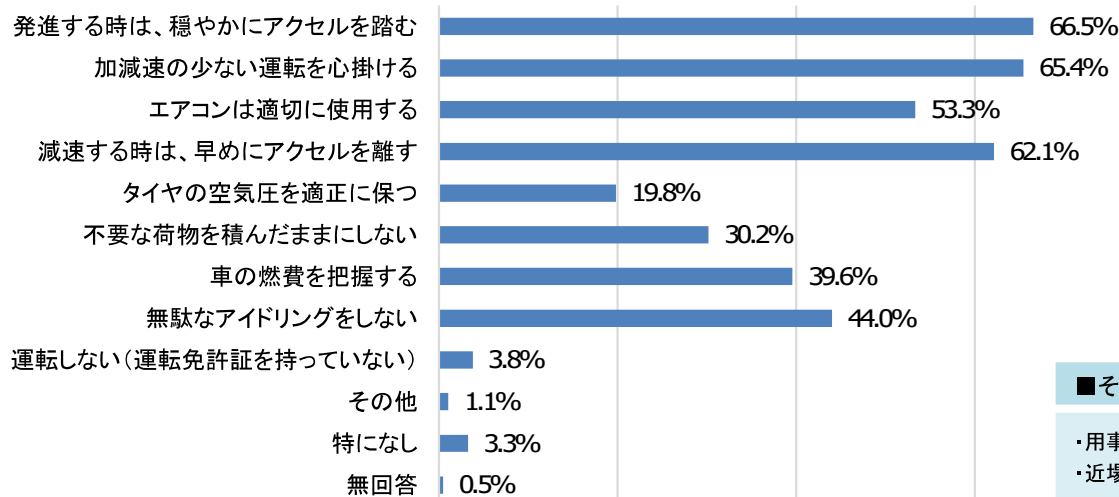


■その他意見

- ・常に誰かが在宅している
- ・置き配にしている
- ・再配達にせず取りに行く

- 宅配便の再配達防止のために実施していることについては、「受け取る日にちや時間帯を指定」が約7割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「受け取る日にちや時間帯を指定」が最も多い回答となっています。

問4 車の運転に関して気を付けていること (N=182 複数回答)



■その他意見

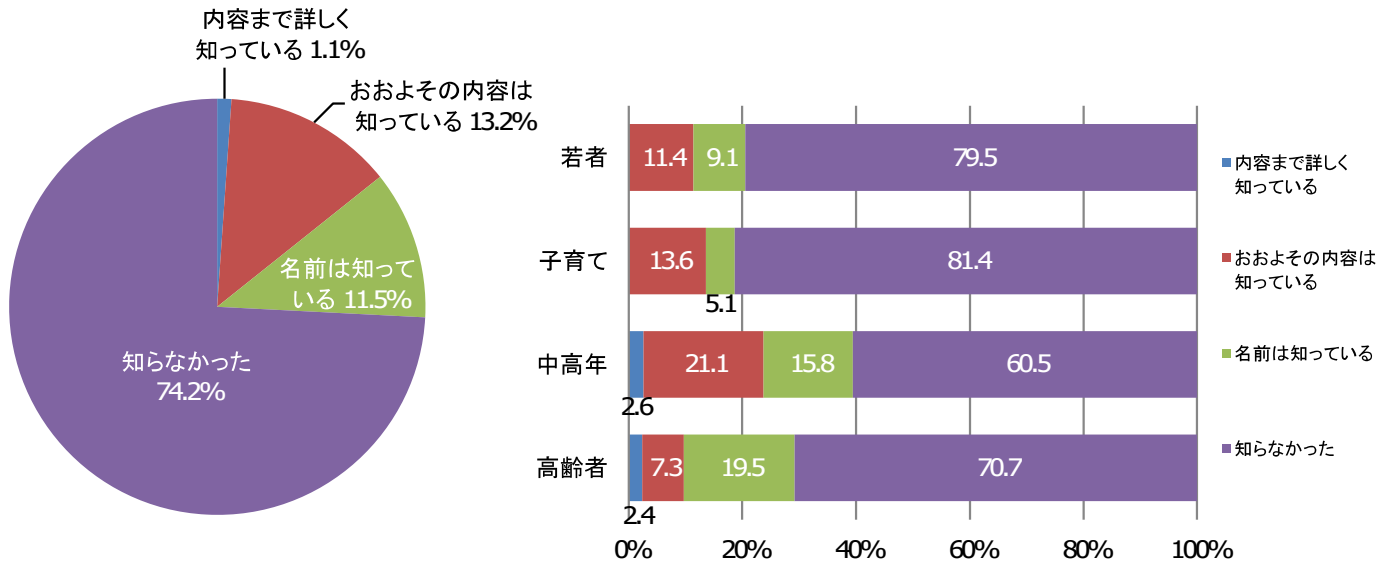
- ・用事はまとめて済ませる
- ・近場は使用しない

(%)	若者	子育て	中高年	高齢者
発進する時は、穏やかにアクセルを踏む	59.1	62.7	65.8	80.5
加減速の少ない運転を心掛ける	59.1	54.2	65.8	87.8
エアコンは適切に使用する	43.2	61.0	50.0	56.1
減速する時は、早めにアクセルを離す	61.4	57.6	65.8	65.9
タイヤの空気圧を適正に保つ	11.4	10.2	26.3	36.6
不要な荷物を積んだままにしない	20.5	32.2	31.6	36.6
車の燃費を把握する	34.1	25.4	57.9	48.8
無駄なアイドリングをしない	47.7	37.3	50.0	43.9
運転しない(運転免許証を持っていない)	6.8	1.7	2.6	4.9
その他	-	-	5.3	-
特になし	2.3	3.4	5.3	2.4
無回答	-	1.7	-	-

- 車の運転に関して気を付けていることについては、「発進する時は、穏やかにアクセルを踏む」が最も多く、次いで「加減速の少ない運転を心掛ける」も約7割となっています。
- 世代別にみると、子育て・中高年では「発進する時は、穏やかにアクセルを踏む」が、高齢者では「加減速の少ない運転を心掛ける」が最も多い回答となっていますが、若者では「減速する時は、早めにアクセルを離す」が、最も多い回答となっています。(中高年では「加減速の少ない運転を心掛ける」と「減速する時は、早めにアクセルを離す」も同率)。

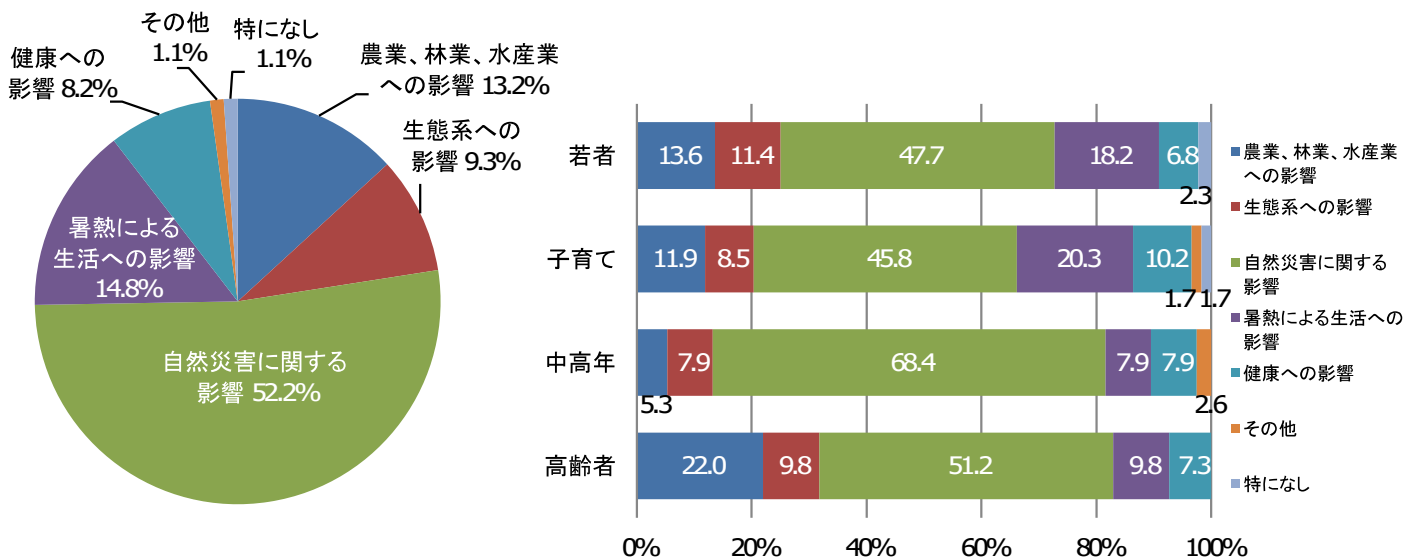
■問5 「適応策※」の認知度 (N=182)

※ 適応策:既に生じている、あるいは将来予測される気候変動(地球温暖化)の影響による被害を回避、軽減する対策



- 「適応策」の認知度については、『知っている』(「内容まで詳しく知っている」、「おおよその内容は知っている」と「名前は知っている」の合計)が約3割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育ての約2割、中高年の約4割、高齢者の約3割が『知っている』と回答しています。

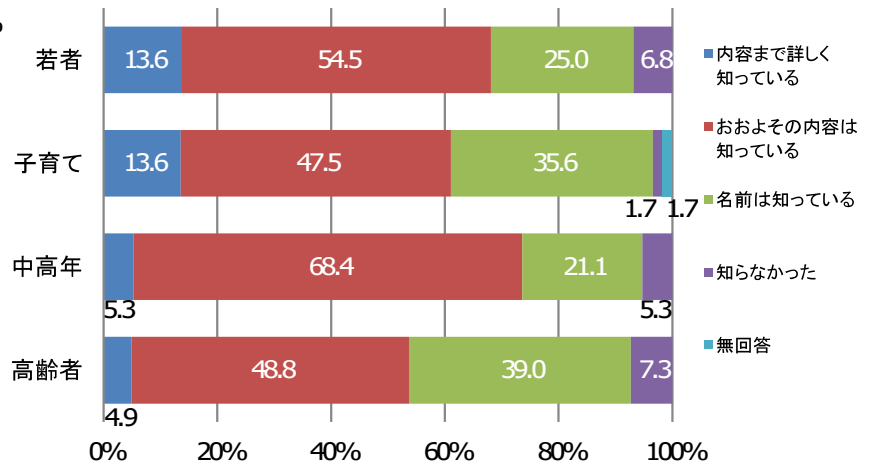
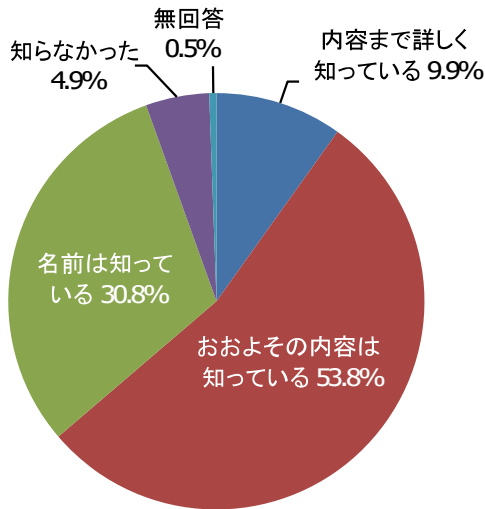
■問6 地球温暖化の影響で最も心配なこと (N=182)



- 地球温暖化の影響で最も心配なことについては、「自然災害に関する影響」が約5割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「自然災害に関する影響」が最も多い回答となっています。

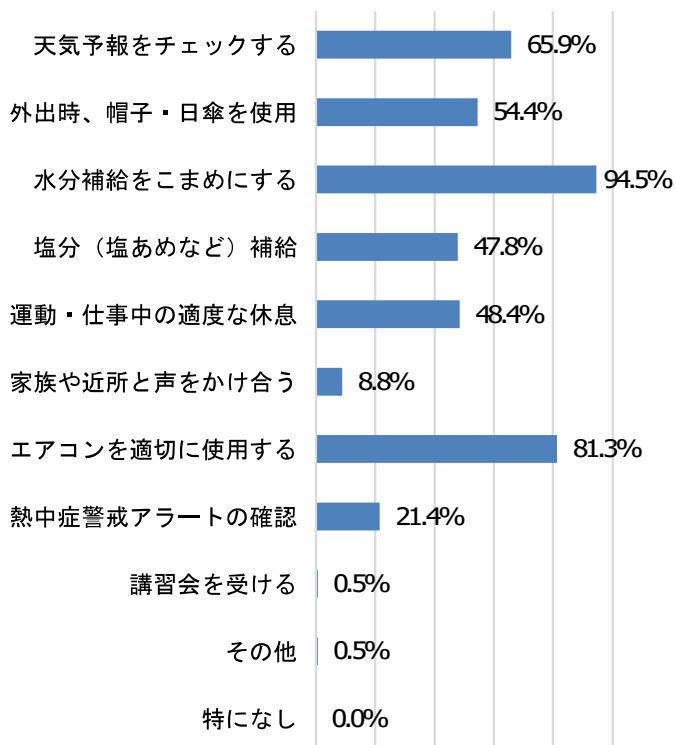
問7 熱中症警戒アラート※の認知度 (N=182)

※ 熱中症警戒アラート: 暑さ指数(WBGT)を用いて、熱中症への警戒を呼び掛けるお知らせ。



- 熱中症警戒アラートの認知度については、『知っている』(「内容まで詳しく知っている」、「おおよその内容は知っている」と「名前は知っている」の合計)が約9割となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で9割以上が『知っている』と回答しています。

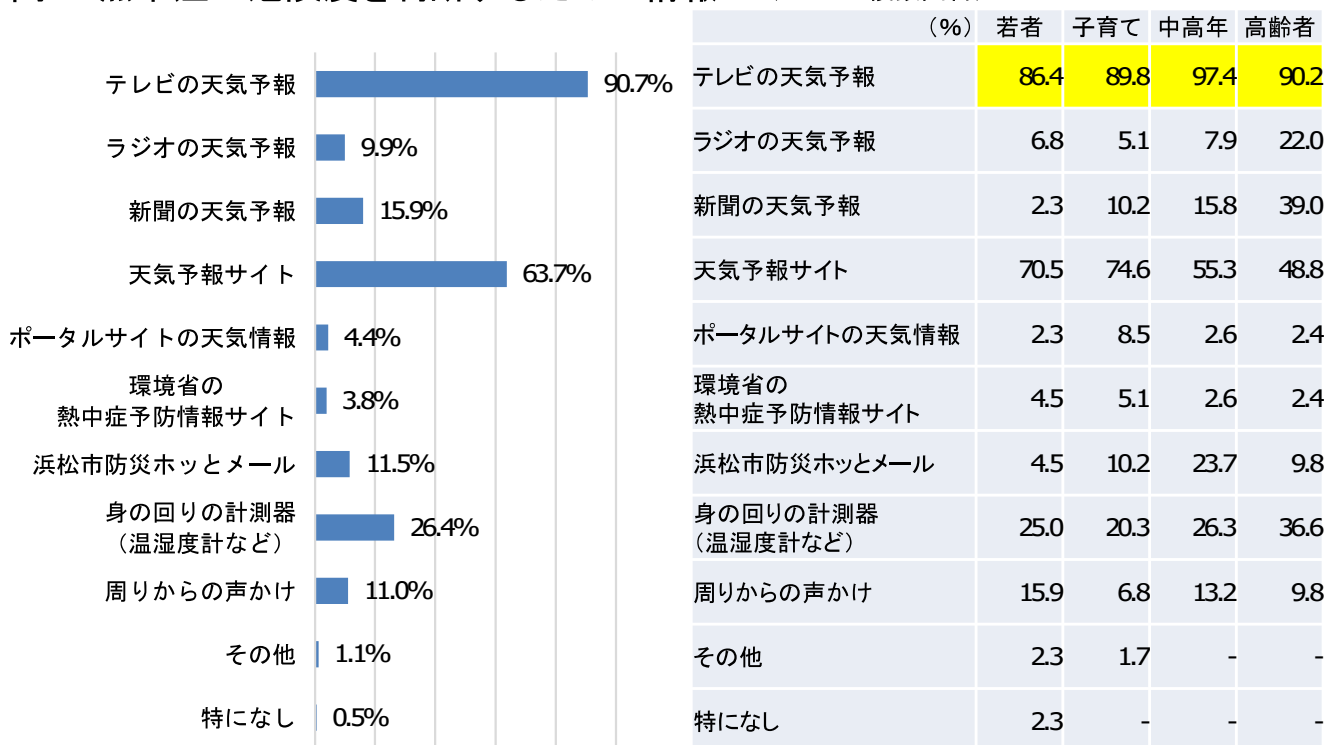
問8 熱中症予防として実施していること (N=182 複数回答)



(%)	若者	子育て	中高年	高齢者
天気予報をチェックする	52.3	66.1	78.9	68.3
外出時、帽子・日傘を使用	47.7	47.5	55.3	70.7
水分補給をこまめにする	97.7	89.8	97.4	95.1
塩分(塩あめなど)補給	38.6	50.8	55.3	46.3
運動・仕事中の適度な休息	47.7	44.1	55.3	48.8
家族や近所と声をかけ合う	9.1	6.8	10.5	9.8
エアコンを適切に使用する	79.5	86.4	84.2	73.2
熱中症警戒アラートの確認	15.9	16.9	36.8	19.5
講習会を受ける	2.3	-	-	-
その他	-	-	-	2.4
特になし	-	-	-	-

- 熱中症予防として実施していることについては、「水分補給をこまめにする」が約9割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「水分補給をこまめにする」が最も多い回答となっています。

問9 熱中症の危険度を判断するための情報 (N=182 複数回答)



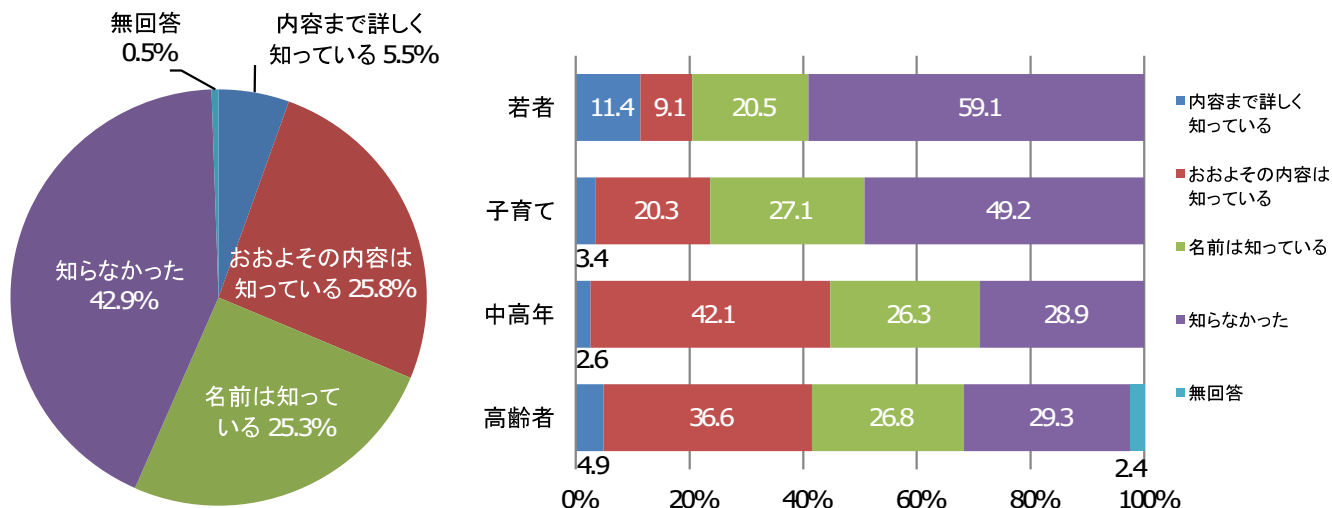
■その他意見

・体感

- 熱中症の危険度を判断するための情報については、「テレビの天気予報」が約9割と最も多く、次いで「天気予報サイト」が約6割となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「テレビの天気予報」が最も多い回答となっています。

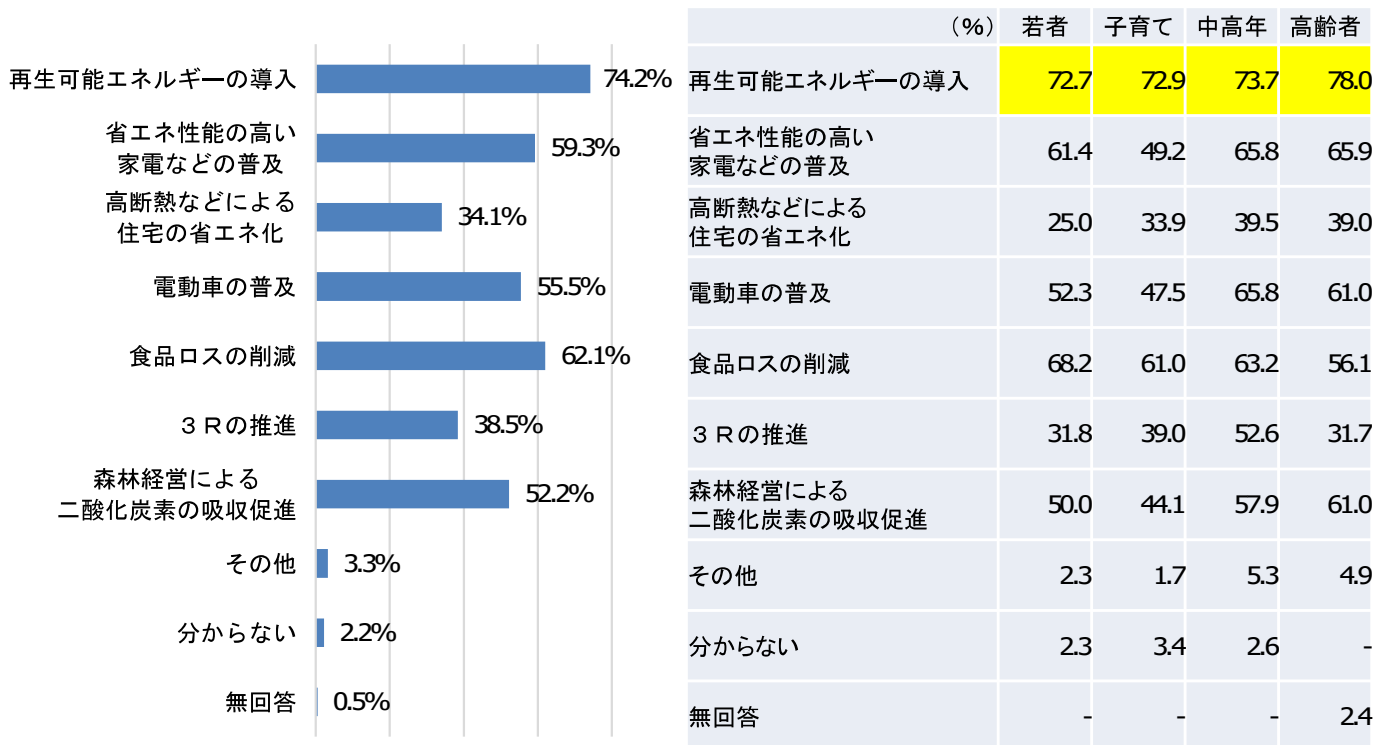
問10 「2050年カーボンニュートラル※」宣言の認知度 (N=182)

※ カーボンニュートラルとは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの人為的な「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。2020年10月、政府は2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言した。



- 「2050年カーボンニュートラル」宣言の認知度については、『知っている』(「内容まで詳しく知っている」、「おおよその内容は知っている」と「名前は知っている」の合計)が約6割となっています。
- 世代別にみると、おおむね世代が高くなるにつれて『知っている』の回答割合が高くなっています。

■ 問11 地球温暖化防止のために必要だと思うこと (N=182 複数回答)



■ その他意見

- ・生活の簡素化
- ・節電などの意識づけ
- ・CO2への課税
- ・途上国への技術支援

- 地球温暖化防止のために必要だと思う政策については、「再生可能エネルギーの導入」が約7割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「再生可能エネルギーの導入」が最も多い回答となっています。